

SVBONY

SV501P



前書き

太陽観測時の警告.....	8
パッケージ内容.....	8
望遠鏡の組み立て.....	9
三脚のセットアップ.....	9
望遠鏡と三脚のセットアップ.....	10
望遠鏡の上下、左右の移動.....	10
天頂プリズム & 接眼レンズの取り付け.....	11
ファインダースコープの取り付け.....	11
ファインダースコープの調整.....	11
望遠鏡のメンテナンス.....	12
光学部品の手入れとクリーニング.....	12
技術仕様.....	12

前書き

SVBONY SV501Pをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。SV501Pは、安定性と耐久性を確保するために最高品質の素材で作られています。これらすべてが、最小限のメンテナンスでお客様に満足いただける望遠鏡になります。この望遠鏡は、旅行用に設計されており、優れた価値を提供します。SV501Pは、十分な光学性能を備えたコンパクトで、地上だけではなく天体観測にも使用できます。アフターサービスについては、当社の公式サイト <https://www.svbony.jp/>

◆ SV501Pは以下の機能があります：

- コーティングされたガラス光学要素、鮮明な画像を見られます。
- 天頂プリズムの使用で正立像が見られます。
- 適切な高さの設定は対象物体を見やすくします。
- 組み立て済みのアルミニウム製フルサイズ写真用三脚は、安定した動作を保証します。
- 迅速で簡単な工具不要のセットアップ。

望遠鏡と三脚は標準のバックパックの中に収まり、持ち運びに便利です。使用する前に、このマニュアルをよく読んでください。マニュアルには、各ステップに関する詳細情報、必要な参考資料などを詳しく記載されています。他に何かご質問やご問題がございましたら気軽にお問い合わせください。

◆警告 太陽観測

- 適切な太陽観測フィルターをつけられない場合、肉眼や望遠鏡で太陽を直接見ないでください。眼を痛めたり、失明する可能性があります。
- 望遠鏡を使用して太陽の画像を表面に投影しないでください。内部の熱が蓄積すると、望遠鏡とそれに取り付けられているアクセサリを損傷する可能性があります。
- 接眼レンズ太陽フィルターやハーシェルウェッジは絶対に使用しないでください。望遠鏡の内部に熱が蓄積すると、これらの部品にひびが入ったり壊れたりして、太陽光が直接目に入る可能性があります。
- 子供さんがいる場合や、望遠鏡の正しい操作手順に慣れていない大人の場合は、望遠鏡を使用しないでください。

◆パッケージ内容

- 望遠鏡を使用しない場合の保管には、望遠鏡収納箱をお勧めします。一部のパーツは小さいので、箱を慎重に開梱してください。以下の部品リストを参照しながら、すべての部品とアクセサリが揃っていることを確認してください。

◆ 部品リスト：



- 1、対物レンズ
- 2、望遠鏡光学チューブ
- 3、三脚ヘッドプラットフォーム
- 4、方位角ロックノブ
- 5、中央カラムロックノブ
- 6、三脚
- 7、ファインダースコープ
- 8、直立画像天頂プリズム
- 9、接眼レンズ
- 10、フォーカスノブ
- 11、パンハンドル

◆望遠鏡を組み立てる

Fig. 2



このセクションでは、SVBONY SV501Pの組み立て手順について説明します。

望遠鏡は、屋外で試す前に、さまざまな部品を簡単に識別し、正しい組み立て手順に慣れるために、最初は屋内に設置する必要があります。

SVBONY SV501Pは1つの箱に入っています。箱の中の部品：望遠鏡光学チューブ、三脚、直立像天頂プリズム、20 mm接眼レンズ、10 mm接眼レンズ、ブラケット付きの5x24ファインダーコーブ（すべてトラベルバックパックに梱包されています）。

◆三脚のセットアップ

1、三脚は組み立て済みなもので、セットアップがとても簡単です。

Fig. 3

2、三脚を直立させ、各脚が完全に伸びるまで三脚の脚を外側に引き出します(図3)。



3、三脚の脚を好きな高さまで上げることができます。最も低いレベルでは、高さは約117.7インチ(45 cm)で、約54.33インチ(138 cm)まで伸びます。

4、三脚の高さを上げるには、各セクションのクランプを外側に引いて開くことにより、各三脚脚の下部にある三脚脚ロッククランプのロックを解除します(図4)。クランプのロックが解除されたら、三脚の脚を最後まで引き出し、脚のロックを閉じて固定します。三脚の脚とセクションごとにこれを続けて、高さを希望のレベルまで上げます。完全に伸ばした三脚は、図5の画像のようになります。すべてのセクションですべての脚を持ち上げると、高さは約554.33インチ(138 cm)になります。

Fig. 4



5、三脚の高さをさらに上げたい場合は、図6の左下にある中央の支柱ロックノブを使用する必要があります。ロックノブを反時計回りに回して緩めます。次に、三脚の頭を引き上げると、中央の支柱が上に移動します。希望の高さまで引き続けてから、ロックノブを締めます。中央の支柱を可能な限り持ち上げると、可能な最大の高さ- 63インチ(160 cm)が達成されます。

Fig. 5



Fig. 6



◆天体望遠鏡のチューブを三脚に取り付けます。

望遠鏡の光學管は、光學管の底にある取り付けブラケットを使用して三脚に取り付けます。三脚の取り付けプラットフォーム。開始する前に、三脚のすべてのノブがロックされていることを確認してください。

1、光管を覆っている保護紙を取り除きます。

2、右上のノブ (図7) を反時計回りに回して緩めます。これにより、図8に示すように三脚プラットフォームを90°上に傾けることができます。プラットフォームを上へ傾けた後、ノブを締めて固定します。所定の位置にあります。

3、図9は、光管の底部を示しています。そこで三脚のプラットフォームに接続します。

4、三脚プラットフォームの中央の下にノブがあります (図9)、それは1/4x20ネジを含んで、このネジはプラットフォームを望遠鏡の光學管に取り付けます。

5、1/4x20ネジをSVBONY SV501Pのネジ穴に入れます。片手で望遠鏡チューブを持ち、ネジを時計回りにねじ込みます。図10。

6、最後に、三脚プラットフォームのノブを緩め、プラットフォームを水準位置まで下げます。次に、安全にノブを締めます。



Fig. 7



Fig. 8

Fig. 9



Fig. 10

◆SVBONY SV501Pを手動で移動します。

SV501Pは、簡単に移動できます。上下 (高度) はパンハンドルで制禦します。コントロールノブ (図1)。左右 (方位角) は、方位角ロックノブ (図7の左上のノブ) によって制禦されます。

両方のノブは、反時計回りに回すと緩み、時計回りに回すと締められます。両方のノブが緩んでいるときに、オブジェクトを簡単に見つけて (後で説明するファインダースコープを使用して)、コントロールをロックできます。

◆天頂プリズムと接眼レンズの取り付け

天頂プリズムは、望遠鏡の光路を 90°直角に折り曲げ、見やすい位置に接眼レンズを取り付ける事ができます。SVBONY SV501Pの天頂プリズムは直立した画像です。

接眼レンズ:

望遠鏡にある2本のつまみネジがチューブの開口部に突き出ていないことを確認してください。

後で天頂プリズムの小さなバレルを最後まで挿入します。

(図11)。次に2本のつまみネジを締めます。

2. 接眼レンズを天頂プリズムに挿入します:

後で天頂プリズムのつまみネジを締めます。これを行うとき

前につまみねじが天頂プリズムに突き出ていないことを確認してください。

3. 上記のステップ2の手順の通りに、接眼レンズを他の焦点距離に変更することができます。

Fig. 11



◆ガイドスコープの取り付け方法

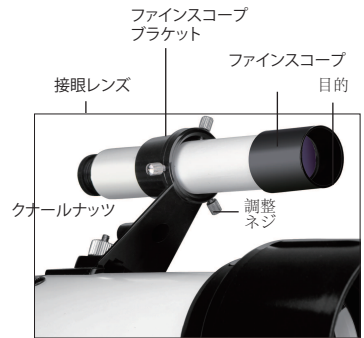
1. ファインダースコープの位置を確認します。(ファインダースコープのブラケットに取り付けられます)

2. ネジ付きポストの刻み付きナットを取り外します。望遠鏡チューブ(図12)。

3. ファインダースコープブラケットを支柱の上に置いて取り付けます。光学管から突き出て、所定の位置に保持します。ローレットナットをねじ込み締めます。

4. ファインダースコープの両端からレンズキャップを取り外します。

Fig. 12



◆ファインダースコープの調整

1. 遠くの昼間の物体を見つけて、メイン望遠鏡の低倍 (20 mm) 接眼レンズの中央に置きます。

2. ファインダースコープ (ファインダースコープの接眼レンズの端) に目を通し、同じオブジェクトの位置に観察します。

3. 望遠鏡を動かさずに、望遠鏡の周りにある調整つまみネジ (図12) を回します。ファインダースコープの十字線が望遠鏡の中心にくるまでです。

4. ファインダースコープからの画像の焦点が合っていない場合は、ファインダースコープの接眼レンズを回転させて、はっきりと見えるようにします。

注: 天体望遠鏡で地上を見ると逆さまに見えるです。

◆望遠鏡の基本

フォーカス

焦点を合わせるには、望遠鏡の背面近くにあるフォーカスノブを回します（図1を参照）。反時計回りに回すと、現在観察しているものよりも遠いものに焦点を合わせることができます。

ノブを時計回りに回すと、現在観察している物体よりも近くにある物体に焦点を合わせることができます。

注：観察を試みる前に、レンズキャップを取り外してください。

注：矯正レンズ（特に眼鏡）を着用している場合は、接眼レンズで観察するときにそれらを外したい場合があります

◆望遠鏡のメンテナンス

メンテナンスの注意事項に注意してください。最高のパフォーマンスを発揮します。

ほこりが望遠鏡内に入るなら指でとろうとしてはいけません。レンズ面に傷を引き出しがちです。エアダストブロー（PCクリーニング用のエアダスター）またはブローアでほこりを吹き飛ばします。後で無水エタノールと綿棒で拭き上げます。


繰り返しになりますが望遠鏡は精密機械なのでとても繊細です。もし上述の汚れではないなら、無断に望遠鏡を分解しないで、ゴシゴシ拭かずサッと拭ける部分に関しては水分をとってあげて、そうでない部分や細かい部分にはクリーニングクロスや綿棒やで優しく拭きとってあげましょう。

そして、結露に関しては外気と室内の温度になれさせてあげることが大事です。バックの中やビニール袋にいれて持ち運び、急な温度変化のしやすい環境は避けるようにします。

◆技術仕様

仕様	SVBONY SV501P
光学設計	屈折望遠鏡
対物レンズ	70mm(2.8 ")
焦点距離	400mm 360 mm
焦点比	f / 5.7 f / 7.2
光学コーティング	完全コーティングコーティング
ファインダースコープ	5x24
直立画像	-45°1.25 "
接眼レンズ	20mm 1.25 "(20x)
バローレンズ3x1.25	インチN / A
見かけの視野	20mm @ 50°
ft/1000 yards	20mm@131/44
フォーカス w/20mm	接眼レンズ19フィート(5.8m)
三脚	SVBONY SV101三脚 黒
ロックノブ	はい
長さ	45-138cm
倍率	168x
恒星等級制限	11.7
解像度	1.98
集光力	100x
長さ	43cm
重量	2.0kg

注:仕様は変更される場合もあります。

	<ul style="list-style-type: none">●肉眼で太陽やその他の強い光を見ないでください。見たら永久的な目の損傷があるかもしれません。●不要な損傷を避けるため、子供は大人の保護者の看護で使用する必要があります。●プラスチック製のパッケージをお子様が届く場所に置かないでください。子供たちはプラスチックを口に入れて窒息する可能性があります。
--	--

メンテナンスとクリーン:

このアイテムは、対物レンズと接眼レンズが清潔に保たれていることを確認する以外に、定期的なメンテナンスを必要としません。

対物レンズや接眼レンズが汚れていると、光の透過が少なくなり、明るさが失われ、画像が鮮明になりません。光学系を清潔に保ってください! 使用しない場合は、付属のケースに保管してください。

使用上の注意:

- 1、製品は換気された乾燥した清潔な場所に保管して、ドライボックスに入れてください。
- 2、光学レンズにほこりやその他の汚れがある場合は、専門のクリーニングキットを使用してクリーニングしてください。布や硬いブラシで直接拭かないでください。
- 3、製品をご自身で分解、修理しないでください。修理が必要な場合は、専門のアフターセールス部門までご連絡ください。
- 4、非防水製品は湿った環境で使用せず、防水製品は湿った環境で使用し、使用後は乾燥させてください。
- 6、屋内で見る場合は、窓を閉めないでください。製品の観察効果が低下します。窒息の危険から避ける



小さなパーツ。3歳未満の子供は対象外です。

お勧めアクセサリ



SVBONY japan公式サイトHP : <http://www.svbony.jp/>

Twitter:@svbony

Facebook : @SvbonyJapan

メールアドレス : info@svbony.jp